

キネステティクス®体験講座アンケート結果 2016, 12/3

参加者 7 名 回答率 100%

・自分の介助がある意味、力まかせであったこと。本日動きを勉強したように接すると介助する側もされる側も負担が少なく、優しく触られているようだった。現場でも役立てたいと思います。

・筋肉と骨、重さのかけ方、かかり方、自分がどんな援助をしていたのか振り返ることができた。考えることと気づくことができた。次のステップに進みたいと思った。

・骨と筋肉でこんなに安定したり、不安定になる事が、自分が体験してよくわかりました。自分が患者さんの立場になると気づく事がありました。片方を浮かせる事で介護者も患者さんも緊張なく介助ができる事がわかりました。ありがとうございました。

・改めて骨の役割と筋肉の役割を勉強（体験）する事ができました。日頃自分が介助しているのがいかに力任せだったという事を実感する事ができました。今日学んだ事を職場に持ち帰りできる事から実践していきたいと思います。

・普段の介助のやり方をもう一度復習し直したいと思いました。自分のやり方で相手にきつい思いをさせてしまっているのだということ、今日の体験でいろいろなやり方があるのかという事がわかり、すごく参考になりました。明日から実践していきたいと思います。

・大変多くの学びができました。今後の援助に役立てたいと思います。もう少し長い時間でも良かったです。

・骨と筋肉の役割や力を使わない介助が実践に使用できる技術だと思いました。ですが、患者さんの状態によっては使用する事ができないとも思いました。色々なサービスで使用（活用）できれば良いと感じました。